2023年度

数学入試問題

(2023年2月5日実施)

		1			
		1			
		1			1
		ı			1
座席番号		1			1
₁ ₁ ₁ ₁ ₁ ₁ ₁ ₁ ₁ ₁		1			
		l .			1
		1			1
/ /ile					1
		l .			1
		1			1
		ı			1
		1			1
		1			

[注意]

- 1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子や筆記用具に触れないでください。 触れた場合は、不正行為とみなすことがあります。
- 2. 試験中の使用が認められたもの以外は、すべてカバンに収納すること。使用 用具は、黒鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(手動式・小 型に限る)とし、それ以外の使用は認めません。
- 3. 携帯電話、スマートフォン、イヤホン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダーなどの電子機器類は、必ず電源を切ってから、カバンに収納する こと。
- 4. 試験開始の合図により、試験を始めてください。
- 5. 試験開始の合図の後、問題冊子の表紙裏面にある【解答上の注意】をよく読んでから、解答を始めてください。
- 6. 解答は、すべて「解答用紙」の所定の欄に記入すること。
- 7. 試験終了の合図とともに直ちに筆記用具を置いてください。試験終了後に解答用紙や筆記用具に触れた場合は、不正行為とみなすことがあります。試験監督者が指示するまで、絶対に席を立たないでください。
- 8. 問題冊子および解答用紙は、試験終了後にすべて回収するので、**持ち帰って** はいけません。

【解答上の注意】

- 1. 解答は、解答用紙の問題番号に対応した解答欄にマークしなさい。
- 3. 分数形で解答する場合、分数の符号は分子につけ、分母につけてはいけません。

また、それ以上約分できない形で答えなさい。

例えば、 $\frac{3}{4}$ と答えるところを、 $\frac{6}{8}$ のように答えてはいけません。

4. 小数の形で解答する場合、問題の文中に指示がないときには、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えなさい。

また、必要に応じて、指定された桁までマークしなさい。

例えば, キ に 2.5 と答えたいときは, 2.50 として答えなさい。

5. 根号を含む形で解答する場合、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えなさい。

例えば, \Box $\sqrt{}$ に $4\sqrt{2}$ と答えるところを, $2\sqrt{8}$ のように答えてはいけません。

$$\frac{3+2\sqrt{2}}{2}$$
 と答えるところを, $\frac{6+4\sqrt{2}}{4}$ や $\frac{6+2\sqrt{8}}{4}$ のように答えてはいけません。

- (1) $6x^2-7x-3$ を因数分解すると、(ア x+ イ) (ウ x- エ) となる。
- (2) 2次方程式 $(3x+2)^2-16(3x+2)+1=0$ の解は、x= **オ** $\pm\sqrt{$ **カ** である。
- (3) *a*, *b* は実数とする。

- 命題(*)の逆は
 である。
- ② 命題(*)の裏は **ク** である。
- ③ 命題(*)の対偶は ケ である。
- 1. [a, b] がともに有理数ならば、a+b、a-bの少なくとも一方は有理数である。」
- 2. $\lceil a, b \rceil$ の少なくとも一方が有理数ならば、a+b, a-b はともに有理数である。」
- 3. $\lceil a+b, a-b \rangle$ の少なくとも一方が無理数ならば、a, bはともに無理数である。」
- $4. \lceil a+b, a-b$ の少なくとも一方が有理数ならば, a, b はともに有理数である。」
- 5. $\lceil a+b, a-b \rangle$ がともに有理数ならば, a, b はともに有理数である。」
- 6. $\lceil a+b, a-b \rangle$ がともに有理数ならば、a, bの少なくとも一方は有理数である。」
- (4) 次のような小さい順に並べた 9 個の数値のデータがあり、図はその箱ひげ図である。 x= **コ** であり、y= **サシ** である。



a を実数の定数とし、x の 2 次関数 $f(x) = x^2 - (4a+6)x + 3a+5$ がある。

(1) y = f(x) のグラフの頂点の座標は,

$$($$
 $egin{array}{c|cccc} oldsymbol{\mathcal{T}} & a + oldsymbol{\mathsf{T}} & \mathbf{\mathcal{T}} & \mathbf{\mathcal{T}$

- (3) a=-3とする。y=f(x)のグラフ上に,x 座標と y 座標がともに負である点 A をとり,点 A を通る x 軸に平行な直線と y=f(x) のグラフの共有点のうち,A でない方の点を B とする。また,x 軸上に点 C,D をとり,長方形 ABCD をつくる。ただし,点 A の x 座標は点 B の x 座標より大きく,点 A は放物線の頂点と一致しないものとする。

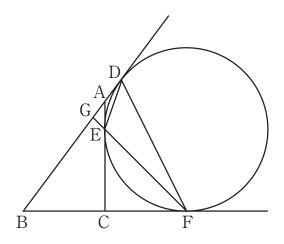
点 $A \cap x$ 座標を t, 長方形 ABCD の周の長さを l とすると,

$$l=$$
 $m{ au}$ $t^2 m{ y}$ $t+$ シス

と表すことができ,l の値が最大になるとき,点 A の x 座標は $\boxed{$ **セソ**] であり, このときの l の値は $\boxed{$ **タチ**] である。

- - ② $\frac{2}{7}$ を小数で表すとき,小数第 1 位から小数第 100 位までに並ぶ 100 個の整数の和は $\boxed{\textbf{カキク}}$ である。
 - ③ 10 進数の 123 を 4 進法で表すと、 $\boxed{\textbf{ケコサシ}}_{(4)}$ であり、10 進数の 102 を n 進法で表すと、 $123_{(n)}$ となった。このとき、 $n=\boxed{\textbf{Z}}$ である。
- (2) 箱の中に $\boxed{1}$ のカードが 1 枚, $\boxed{2}$ のカードが 2 枚, $\boxed{3}$ のカードが 3 枚, $\boxed{4}$ のカードが 4 枚入っている。いま,箱の中から 1 枚ずつ続けて 3 枚のカードを取り出す。ただし,取り出したカードはもとに戻さないものとする。
 - ① 3枚目に取り出したカードが $\boxed{3}$ である確率は, $\boxed{\begin{array}{c} \boldsymbol{v} \\ \hline \boldsymbol{y} \\ \hline \end{array}}$ である。
 - ② 取り出した 3 枚のカードの数の和が 9 である確率は, **テトナ** である。

 \triangle ABC において、AB= 5、 \angle ACB= 90°、 \cos \angle ABC= $\frac{3}{5}$ とする。図のように、 \triangle ABC の辺 BA の延長と点 D で、辺 AC と点 E で、辺 BC の延長と点 F で接する円を考え、直線 FE と辺 AB の交点を G とする。



(1) AD=AE, BD=BF, CE=CF であるから, AD=
$$\ref{p}$$
 , CF= \ref{q} であり, DF = \ref{p} である。

(3)
$$DE = \frac{ コ \sqrt{ サシ}}{ 2 }$$
, $EF = \boxed{ セ } \sqrt{ \boxed{ y }}$ であり、 $\triangle DEF$ の面積は $\frac{ \boxed{ 9 + }}{ \boxed{ y }}$ である。

数学(20230205) 解答一覧

問題1

記号	ア	ィ	Ð	Н	ተ	カ	#	ク	ケ	П	ŧ	ふ
正答	3	1	2	3	2	7	3	2	6	8	1	2

問題2

記号	ア	イ	ゥ	Н	オ	カ	+	ク	ケ	П	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ
正答	2	3	4	9	4	1	2	5	-	2	8	2	0	_	2	2	8

問題3

記号	ア	イ	ウ	エ	オ	力	+	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	卜	ナ
正答																					

問題4

記	号	ア	イ	ウ	Н	オ	カ	+	ク	ケ	П	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	シ
正名	答	1	3	1	2	5	5	3	C	7	3	1	0	5	3	2	1	8	5